

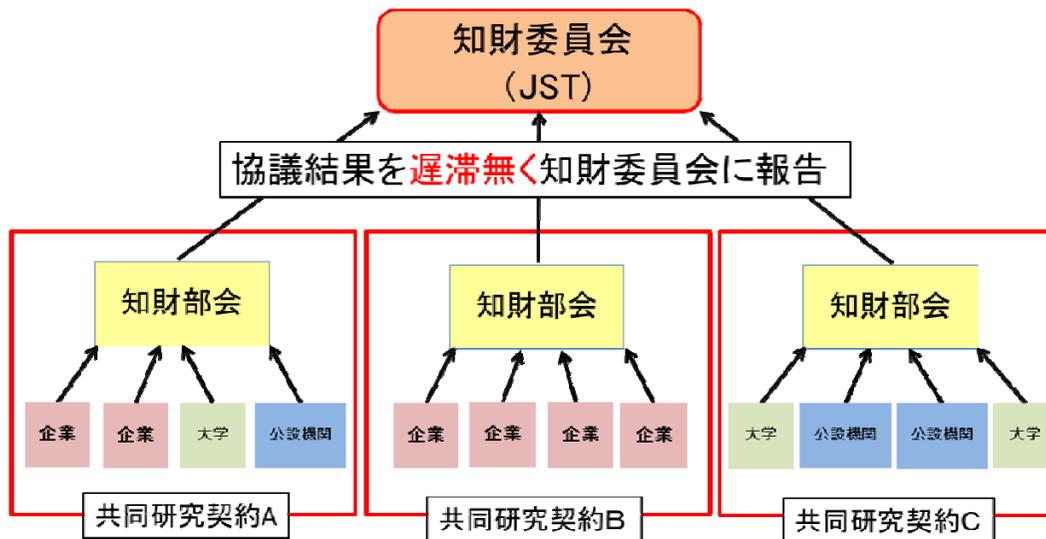
## SIP「革新的構造材料」知財委員会活動内容

### 1. 知財委員会の構成と役割

◆委員長：岸輝雄PD 委員長代理：田中千秋SPD

委員：香川豊SPD 北岡康夫SPD 竹岡八重子弁護士 事務局：内閣府 JST

◆知財委員会は知財権に関する取り決めなどの協議の他、共同研究契約ごとに設置された知財部会から提出される知財部会協議内容、外部公表報告書、知財権出願報告書などを協議する



### <知財部会(共同研究契約ごと)の役割>

- \* 知財戦略の**最終決定機関**
- \* 知財権出願、又は外部公表(論文、学会、報道等)**可否の事前審議**
- \* **未決案件は知財委員会に協議の場を要請**

### <共同研究機関に対する要請>

- \* 知財権出願、論文等発表
  - ・件数の多さより、質の高い成果の事業化最優先
- \* 知財権等の実施許諾への配慮
  - ・事業実施の企業が安心して参入
  - ・事業不実施の大学、公的機関の研究意欲を毀損しない
- \* 知財権出願と外部公表の時期
  - ・出願前の公表が無いように留意
- \* 知財権(外国出願)出願国の選択
  - ・権利独占のメリット、模倣リスク、費用負担等を考慮
- \* 知財権の維持・管理
  - ・企業の事業化戦略に沿う

## 2. 活動経過

- ・開催頻度：平成26年12月から毎月1回、これまで8回開催
- ・平成26年度実績：知財権出願2件、外部公表90件（論文発表26件、学会発表57件、報道発表7件）

## 3. これまでに発行した主な文書

- ①知財委員会運営要領：知財委員会の構成や運営方法を規定
- ②共同研究契約等ガイドライン：件数の多さではなく、質の高い特許出願を重視  
企業の事業戦略に沿った共同研究契約とすることを規定
- ③共同研究契約雛形：ガイドラインが要請する記載内容を反映
- ④知財委員会の取り組み：知財委員会の体制図、知財部会の役割、共同研究機関に対する要請
- ⑤平成26年度外部公表報告書様式及び知財権出願報告書
- ⑥平成27年度知財部会協議内容報告書：知財部会の協議内容を知財委員会へ提出することを要請
- ⑦平成27年度外部公表報告書及び知財権出願報告書
- ⑧樹脂・FRP個別テーマ相互秘密保持規約・同意書：研究発表会等でテーマを超えた情報交換の秘密保持に関して、回覧式署名押印方式に代わり、相互秘密保持規約を遵守する旨の同意書を知財委員長へ個別に提出する差込方式を採用し、署名押印の回覧期間を短縮
- ⑨SIP外部機関との共同開発で生まれた知財の取り扱い：SIPに参画していない外部機関から設備等を購入する際に発生した知的財産は、SIPの事業化に支障が無いように、SIP参画機関のみの知的財産とするよう、共同開発契約で取り決めることを要請
- ⑩連携コーディネータ及び技術主幹が担当する知財部会割り当て：連携コーディネータ及び技術主幹が知財委員会事務局の一員として、各共同研究契約の知財部会へオブザーバ参加し、調整事項の抽出及び調整を行うことを要請
- ⑪卒論・修論等発表会の位置づけの周知：卒論・修論等の学内発表の際の新規性喪失についての注意喚起